

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

- ※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
SW/BM特許実務特論 Software / Business Method-Patent		Z 117	2 単位	4 学期
科目分野		課程領域		
知的財産経営		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
加藤浩一郎	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

特許・実用新案法特論 1	特許・実用新案法特論 2	特許出願・審査特論
--------------	--------------	-----------

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

情報技術の発展に伴い、コンピュータに関するソフトウェア特許や主としてITを利用したビジネス方法特許等のソフトウェア関連発明に関する知識は、技術系の企業のみならず銀行や保険会社など今まで特許に縁の薄かった企業も含め、すべての企業においてその活動の上で重要かつ必要な知識となっている。本講義ではこのようなソフトウェア関連発明について取り上げる。
 本講義においては、ソフトウェア関連発明について、特許法と審査基準及び判例について明らかにするとともに、それらの歴史的背景から特許の保護対象、実務的な観点から特許出願明細書の意義、具体的な明細書作成方法、クレームの作成の留意点等に関する講義とそれに関する演習等を通して、法令について理解を深める。その際、できるだけ多くの具体例を取り上げつつ講義を行うこととする。

到達(修得)目標

ソフトウェア関連発明について、知的財産プロフェッショナルとして必要な専門的事項について知識を得ることを目標とする。

受講対象者

企業の知財担当者、特許事務所のパテント・スタッフ等の知的財産プロフェッショナル、およびこれらを目指す者、IT・SW関連のエンジニア等

履修上の注意事項やアドバイス

- ※ 欠席が、4コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	<input type="radio"/>	X1: 企画	<input type="radio"/>
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	<input type="radio"/>	Z2: 独創力	<input type="radio"/>	X2: 構想	<input type="radio"/>
Y3: グローバル法令・実務	<input type="radio"/>	Z3: 問題解決力	<input type="radio"/>	X3: 調査・分析	<input type="radio"/>
Y4: マネジメント	<input type="radio"/>	Z4: プレゼンテーション力	<input type="radio"/>	X4: 設計・開発	<input type="radio"/>
Y5: 戦略立案	<input type="radio"/>	Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	<input type="radio"/>	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	<input type="radio"/>
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1		
2		
3		

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
平常点(出席・受講態度)	20%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 成績評価は中間テスト及びレポート課題の提出物により厳格に行う。
中間テスト、レポート課題	80%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	特許庁審査基準及び審査ハンドブック(特にSW/BM特許に関連する部分)	特許庁HPよりDL(必要部分は講義において指示する)
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	必要に応じて授業で指示する	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	SW/BM特許とは SW/BM特許に関する審査基準等の説明		加藤	180分
	イベント			
3.4	IoT関連特許に関する審査基準等の説明		加藤	180分
	イベント			
5.6	AI関連特許に関する審査基準等の説明		加藤	180分
	イベント			
7.8	SW/BM特許の権利行使等		加藤	180分
	イベント			
9.10	SW/BM特許関連の判例研究		加藤	180分
	イベント	ケーススタディ		
11.12	SW/BM特許の明細書作成・中間処理実務		加藤	180分
	イベント	ゲスト講師		
13.14	SW/BM特許の明細書作成・中間処理実務		加藤	180分
	イベント	ゲスト講師		
15.16	SW/BM特許の明細書作成・中間処理実務		加藤	180分
	イベント	ゲスト講師		

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名： 加藤